

市長定例記者会見報告事項概要

令和5年10月23日(月) 午前11時00分～

1. 防府市防災セミナーについて

- 今年は、関東大震災後100年の節目を迎える。
- 南海トラフ巨大地震をはじめとした災害への備えなど、市全体での防災意識の高揚を図るため、来月1日(水)に、笑顔満開通りアスピラートで、「防府市防災セミナー」を開催する。
- セミナーでは、防災士等連絡協議会会長の宮本会長による事例発表と、山口大学名誉教授の三浦先生による講演を行っていただく。
- 私も、「防府市の防災の取組みについて」お話しさせていただく。
- どなたでも参加いただけるので、多くの方にぜひお越しいただきたい。
- こうした中、10月に入り、防府市内では火災が多発している。
- 今年は、1月から38件、このうち10月に入ってから9件の火災が発生しており、昨年同時期の3倍の件数となっている。
- これから空気が更に乾燥し、火災が発生しやすい気象状態が続く。火の元、火の取り扱いには十分ご注意ください。

2. 防府競輪「周防国府杯争奪戦」について

- 現在建て替え工事を進めている防府競輪では、記念競輪「周防国府杯争奪戦」を、今年は岡山県の玉野競輪場を借りて開催する。
- 昨年、前人未到の5連覇を達成した清水裕友選手をはじめ、全国の有力選手が出場し、熱い戦いを繰り広げる。
- 市内では、決勝のある5日(日)の最終日に、イオン防府店 東平面駐車場 東側で「防府けいりん感謝祭」を開催する。

- 大型モニターを使ったパブリックビューイングや、ネット番組のライブ放送、お笑いライブステージなど、さまざまなイベントを用意している。
- また、防府競輪場の防府駅前サービスセンターでは開催初日から場外発売をしているので、あわせてぜひお越しいただきたい。

3. 観光に関するお知らせについて

- JR 西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス 瑞風」の来年秋からの立ち寄り先に、毛利氏庭園・毛利博物館が選ばれ、先週金曜日に決定通知式が行われた。
- 決定通知書には、「「瑞風」の立ち寄り効果を最大化するため、おもてなしの心で多くのお客様をお迎えできるよう弊社とともにご準備いただきたくお願い申し上げます」と記されている。市としても、JR 西日本と連携しながらしっかりとおもてなしの準備体制を整えてまいりたい。
- 立ち寄り地に選ばれたことは、防府市にとって名誉なことであり、これを契機に、防府市をしっかりとPRしてまいりたい。
- こうした中、毛利博物館では、今週末の28日(土)から12月4日(月)までの期間に、今年も特別展「国宝」が開催される。
- 雪舟筆の国宝「四季山水図」をはじめ、毛利家伝来の逸品が一堂に公開される。多くの方にお越しいただきたい。
- 特別展初日には、旧毛利家本邸大広間で、オープニングセレモニーを行う。
- 現在、県立美術館で行われているコレクション展「雪舟と雲谷派」とあわせて観ていただくと、毛利博物館の素晴らしさがより一層分かるのではないかと考えている。

- 「月の桂の庭」では、秋の限定公開を行う。
- 11月に入ると、4日（土）には、周防国分寺で「国分寺まつり」、18日（土）、19日（日）の2日間は、「すごいぞ！防府 秋の大イベント」、25日（土）には、防府天満宮 御神幸祭が行われる。
- 秋から冬にかけて、防府の観光を盛り上げてまいりたい。

4. 令和6年度予算編成方針について

- 本日、部課長に対し、令和6年度予算編成方針について訓示を行った。
- 令和6年度当初予算は、令和7年度に完了する総合計画の諸施策を確実に達成するための大切な予算となる。
- 様々な困難な状況があるが、近年では、転入人口が多いという状況が続いており、これらの成果が更に前に進むようにしたいと思っている。
- 物価高、人手不足等様々な課題があり、先行き不透明であるが、困難を乗り越え、着実に進めてまいりたい。
- 財源不足については、今年の3月時点に見込んでいた約11億円から、現在、約20億円に膨らんでいる。人件費増や、物価高関係、児童手当の拡充や、システムの改修などによるものである。
- これらについては、国や県の補助事業や国の地方財政対策、更には外郭団体等の補助金等も積極的に活用しながら取り組んでいく。
- また、現在、国では経済対策を検討されている。これについても積極的に活用することにより、今年も、「15か月予算」で編成したいと考えている。財源面だけでなく、経済状況を踏まえた実効性のある予算を組むよう、本日あらためて各部長に指示したところである。
- これから年末にかけて、国の補正予算、当初予算、地方財政対策も明らかになる。これらを最大限活用しながら、歳入の確保、財源不足圧縮に

努め、他の施策に影響を与えることなく、確実に総合計画が達成できる令和6年度の予算にしていく。

- 厳しい財政状況下の予算編成となるが、私自身が先頭に立ち、全職員と一緒に頑張って、素晴らしい予算となるよう努めてまいりたい。